



## 中国動向と海洋進出の狙い

2017年8月

軍事・情報戦略研究所長 西村金一

説明は、全てパワーポイントで行います

### 導入

中国は現在、尖閣諸島沖の領海を頻繁に侵犯し、日本の領土であるという歴史的事実やそれらを踏まえた長年にわたる実効支配の事実を押し曲げても、中国の領土だと主張している。海上では、これまで日中中間線付近に4基の石油リグを設置していたが、2017年6月現在、14基が確認されている。日本の経済水域に埋蔵されている天然ガスを吸引していることと人工の島となりそこに軍事施設が設置される可能性もある。海上自衛隊護衛艦に火器管制レーダーを照射したり、空中では「東シナ海防空識別区」を設定したり、日本の情報収集機に極めて危険な位置まで接近して飛行したりするなど、軍事的な事故が生起する可能性が出てきている。

南シナ海では、中国が2014年5月に西沙諸島（パラセル諸島）付近に石油リグを設置したために、この海域を自国の排他的経済水域と主張するベトナムとの間で衝突寸前の危機的状態になった。中国の公船がベトナムの艦船に体当たりを行い沈めたためだ。その時、中国は約140隻の海軍艦船等で護衛しており、相互の軍艦が睨み合うなどの危機的な状況が生じた。ベトナムでこれらの状況がテレビで報道されると、中国船の過激な行動に反発したベトナム人が中国企業を破壊する暴動も起きた。フィリピン沖では、中国がフィリピンの領土と主張する美濟礁に軍事施設を建設（1995年頃）したことなどで、相互の艦船が海上で睨み合う事象が頻発していた。加えて現在では、ベトナムとフィリピンが自国の領土と主張している赤瓜礁を中国が埋め立てて滑走路を含む軍事施設を建設していることから、緊張状態が高まっている。

中国は現在、1990年以降から近代化し増強した軍事力を背景として、前述したような強引で危険な動きをしている。だが以前は、中国が相手国の領土を盗み取るあるいは領土・領海への侵入の顕著な行動を起こしたのは、相手国の国内治安が悪化した時や他国と戦争状態にあった時、つまり中国の進出にその国が適切に対応できない状況の時だけであった。現在では、相手国の反応に関係なく、なりふり構わず計画を推進しているようだ。

また、顕著な動き（過激な行動）をしていない時には、何もしていないかというのではなく、占領または侵入のための準備を着々と行ってきた。それも相手国に警戒されずに、止められることもなく。事実が後から判明した時は、「え～、中国は裏でこんなことをしていたのか」と驚きを覚えた。

中国の動きを、現在の短い期間だけの事象、個別の事象だけで見てしまうと、誤った判断

や予測をする可能性が高い。なぜなら中国は、数十年から百年の単位で国家戦略を策定し、その戦略に基づいて広い正面や奥深い範囲にまで手を打っているからだ。これらの動きを見誤らず、中国の軍事戦略特に海洋進出戦略を見通すには、過去数十年から現在までの動きを分析し、現状を観察し、それらを踏まえて、将来は、現在の延長線上はどうなるのかを予測する必要がある。

中国の海洋進出戦略を見抜くための考察にあたっては、南シナ海、東シナ海での中国の進出の動きを例にとって紹介する。

最近中国の軍事について今、感じること

20 数年前：軍事的脅威は、他人事

現在：軍事的脅威が、身近に迫っている

### 1. 中国軍の脅威についておさらい

- (1) 中・露・印 3 か国の地上軍兵員・空軍作戦機・海軍艦艇数の比較
- (2) 中国空軍戦闘機、爆撃機の作戦範囲の拡大
- (3) 中国海軍潜水艦の脅威
- (4) 中国軍の上陸能力の増大

### 2. 南シナ海問題

南シナ海で今、何が起きているのか

用語の説明

- (1) 中国の南シナ海南進状況とその背景
- (2) ジョンソン南礁（赤爪礁）の変化
- (3) ファイアークロス礁（永暑礁）の変化
- (4) ミスチーフの変化
- (5) 永興島ウッディ島
- (6) スカボロー礁（黄岩島）
- (7) オランダハーグの仲裁裁判所の裁定

### 3. 東シナ海問題

東シナ海で今、何が起きているのか

- (1) 中国、防空識別圏の設定  
近年（2013年11月23日）に何故、設定したのか
- (2) 日中中間線に近いところで、石油掘削装置を設置している
- (3) 尖閣諸島での、中国艦船の動き
- (4) 東シナ海での中国軍用機の動きの活発化と航空自衛隊のスクランブル

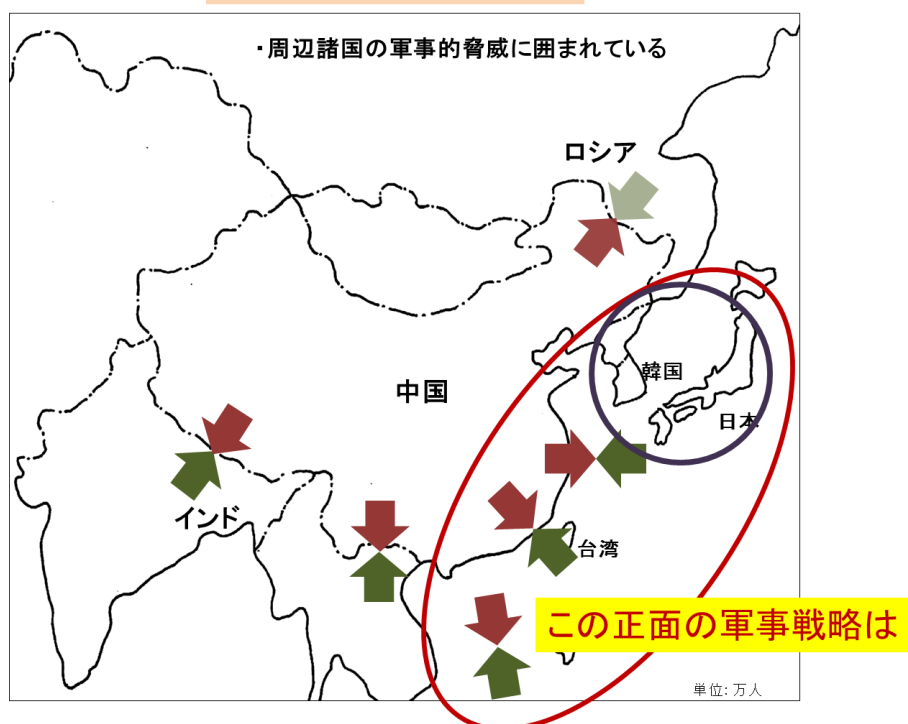
- (5) 中国軍の上陸作戦のイメージ
- (6) 中国弾道ミサイル

#### 4. 中国軍の変化と中国の軍事作戦の狙い

- (1) 周辺諸国から中国への脅威
- (2) 中国軍の第1列島線と第2列島線戦略
- (3) 中国の軍事戦略 A2/AD の解説
- (4) 中国空軍の変化と軍事作戦の狙い
- (5) 中国海軍の変化と軍事作戦の狙い
- (6) 中国弾道ミサイルの変化と軍事作戦の狙い
- (7) 中国軍変化のまとめ

#### パワーポイント例

#### 中国と周辺諸国の脅威



#### 5. まとめ

- (1) 中国軍の進出方向・エリアと防衛ライン
- (2) 3国の脅威がある中で、わが国はどんな位地にあるのか
- (3) 3国の立場から、日本を見てみると

参照文献：自衛隊は尖閣紛争をどう戦うか（祥伝社新書）